

走行チェックシート

日付	2012年4月15日 (日)		時間	~		イベント	2012MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦		
天気	晴れ		マシン	GSX-R1000 L2		ライダー	今野由寛		
コース	名称	鈴鹿サーキット			気温	17 °C			
	コンディション	DRY			気圧	1018 hpa			
	路面温度	30		(計測時間)	湿度	40 %			
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10		エンジンOIL	シェルアドバンス ウルトラ10W-40				
	ファイナルレシオ	15 × 39(2.6)							
トランスミッション	1st	B(35/16)	2.18	4th	B(31/21)	1.48			
	2nd	B(34/18)	1.89	5th	B(21/28)	1.33			
	3rd	B(36/22)	1.64	6th	C(25/32)	1.28			
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)		TEN	-12				
	スプリング	10.00	N/m	OIL	SR6 #5				
	自由長	-	mm	油面	190 mm				
	イニシャル	11	mm	残ストローク	mm				
	COMP	-9		突き出し	STDトップブリッジで12mm突き出し mm				
リア	パーツ名	SHOWA(321.5mm)		TEN	-12				
	スプリング	133.0	N/m	残ストローク	mm				
	自由長		mm	リンク	SPL				
	イニシャル	10	mm	リンクロッド	- mm				
	COMP(HI)	+1		車高	STD+16mm ピボット±0mm スイング長616mm mm				
	COMP(LO)	-10							
タイヤ	フロント			リア					
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ				
	サイズ	125/80/R420		サイズ	210/60R420				
	エア圧	2.1		エア圧	1.3				
チェック	順位	11位		ベストラップ	2' 10" 881(決勝)				
	水温	°C		油温	°C				
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km			
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ			

<コメント>  
 あっという間に全日本選手権も2戦目になりました。  
 今回の鈴鹿は事前テストがない為、ぶっつけ本番でのレースウィークになります。  
 昨年末に鈴鹿サーキットの西コース路面が改修になったので、全体的にタイムが上がりそうです。  
 さて、今回の車両のスペックは第1戦もてぎのレースを終えた仕様とその発展版を準備しました。  
 もてぎでのセッティングはそこそこのバランスが取れている感じで、データを見て、「リアの高さをもう少し高くして運動性を出したい。しかし、車体の動きは今の現状をキープしたい」というライダーからのコメントがあったので、発展版ではピボットシャフト取り付け位置を2mm下げてスイングアーム対地角は維持したまま車高を上げた仕様を試しました。  
 このレースウィークのメニューとしては2仕様の車体確認、タイヤの選択などボリュームはありますが、時間はありません。  
 金曜日の午前中に乗り比べてのコメントとしてはリアが高くフロントを押す感じになりました。  
 タイヤでの違いも大きかったようで午後の走行はもてぎ仕様の車両で進めることに。  
 タイヤを選択し、最後にアタックして2' 10" 72。今野選手の自己ベスト付近まで行きました。  
 さて予選です。今回も雨でした…。しかしコース上にオイルが出るアクシデントがあり予選は夕方から。しかも30分間の計時予選。  
 天気も回復しコースもDRYになって再度予選開始。しかしうまくまとめることが出来ずに14番手で終了。  
 決勝スタートは順調で1周目は11位で通過。その後酒井選手とバトルしていましたが、終盤に後方から上がってきた辻村選手にかわされ、結果11位でチェッカーを受けました。  
 もう一つ進化しなければ前の集団で戦うことは出来ません。  
 次回に向けてしっかりミーティングを行ない、結果を残しにいきます。  
 是非期待してください。  
 応援ありがとうございました。

レーシングサプライ  
 畑中 健太郎